

紫波町水分上地区環境保全活動組織

活動エリア

紫波町水分地区（上松本、小屋敷、升沢、南伝法寺、宮手、吉水）

主な活動内容

- ・ 田んぼダム
- ・ 草刈り
- ・ 鳥獣害対策
- ・ 花壇の整備、苗の植栽
- ・ 生物の生息調査
- ・ 水質モニタリング
- ・ 耕作放棄地への対応



田んぼダム研修参加



水路点検



水路工事、維持管理



草刈り

一言メッセージ

岩手県で唯一田んぼダム事業に取り組んでいます。今後は他の組織にも田んぼダムを広げていき、災害を未然に防ぐことができるようになればと考えています。

かわら版



今回の紙面

委員会報告⇒農地・環境維持に効果、必要性を共有 令和4年度を振り返る
活動報告⇒*畦畔草刈り*共同草刈り*鳥獣害対策の取り組み
*生き物調査の結果

*****臨時発行*****
発行 / 水分上地区環境保全活動組織
代表 / 鷹木嘉孝

農地維持事業の取り組み

十一月三十日現在、交付金収入は予算額に対し100%の2368万9千円が執行されました。支出は予算額に対し31.8%の753

運営委員会には委員二十四名が出席。鷹木代表を議長に会議は行われました。菅川事務局長が農地及び環境維持、農村文化の伝承事業、施設の長寿命化の取り組みについて進捗状況を説明しました。委員からはイノシシ被害が発生している。取り組みを強化して欲しい等の意見が出されました。



水分上地区環境保全活動組織は去る12月11日、吉水公民館で第3回運営委員会を開催し、4年度の事業進捗状況を確認するとともに、取り組みの効果の確認やさらなる取り組みの必要性を共有しました。
(写真：5/25 第1回運営委員会〔総会〕)

農地・環境維持に効果
必要性を共有
令和4年度を振り返る

升沢地区

★六月十二日と八月十四日に25人が参加し、約1kmにわたり高水寺堰の共同草刈り作業と併せて道路の両側の草刈りも行いました。

万円が執行されました。中身を見ると50%以上を執行した項目は、共同草刈り日当やバックホー等の機械経費、草刈り刃などの物材費、そして事務費等となっています。今後年度末に向けて執行予定の内容は、畦畔草刈り日当や水生生物調査費、役員報酬となっています。



★水田畦畔の一斉草刈りを六月五日と七月三日に実施。最初に集合写真を撮った後、作業を開始し、確認作業を行いました。



★耕作放棄地対応の取り組みでは六月十三日に除草剤散布、九月十四日には機械作業による草刈りを実施しました。



★水田畦畔の一斉草刈りを六月五日と七月九日に29人が参加し行いました。



★環境保全活動の一環として「ドングリの会」と連携して花壇作りが五月三十一日と六月十四日に会員12人が参加し行われました。花壇には色とりどりの苗が植栽されました。

小屋敷地区



★南伝法寺地区では、45人が参加し六、七月の畦畔草刈りを実施しました。写真撮影は農家個々の作業日に合わせて日程調整を経て役員が行っています。

南伝法寺地区



生物の生息調査と水質モニタリング
調査地点三カ所で
「きれいな水」評価

農村の生産環境向上活動の一環として、水質保全を目的に生物の生育状況や水質のモニタリングを令和4年10月25日水分地区内の①高水寺堰②宮手川③小屋敷川④漆田川の各1カ所、計4カ所で行いました。

モニタリングには環境マイスター紫波4人の他に当組織から3人が参加。水路の状況では形状や水流の速さ、水深等を調査しました。生物の生息状況では、指標生物(注1)やその他生物を採取・捕獲し調査しました。水質調査では、pH・COD(注2)・透視度等を調査しました。結果、「高水寺堰」「宮手川」「小屋敷川」がきれいな水の「水質階級Ⅰ」に、「漆田川」が汚い水の「水質階級Ⅲ」であることがわかりました。なお、調査は河川の任意の1カ所ずつであるため、河川全体を評価したものではないことを申し添えます。

〔調査結果〕

調査場所		高水寺堰	宮手川	小屋敷川	漆田川
水質	指標生物	数が多かった●・見つかった○			
きれいな水Ⅰ	1カワゲラ類	●	●	●	
	2ヒラタカゲロウ類				
	3ナガレトビケラ類	●			
	4ヤマトビケラ類				
	5ナミウズムシ		○		
ややきれいな水Ⅱ	1ヒラタドROMシ類				
	2ゲンジボタル	○	○		
	3コオニヤンマ				
	4カワナナ類	○	●	○	
	5ヤマトシジミ				
	6イシマキガイ				
	7オオシマトビケラ類				
きたない水Ⅲ	1ミズカマキリ				●
	2ミズムシ	○			
	3タニシ類		○		●
	4シマイシビル	●		●	
	5ニホンドロソコエビ				
	6イソコツブムシ類				
とてもきたない水Ⅳ	1ユスリカ類				
	2チョウバエ類				
	3アメリカザリガニ				
	4エラミミズ		○		
	5サカマキガイ	○			
水質階級の判定	水質階級	I II III IV	I II III IV	I II III IV	I II III IV
	1 ○印と●印の個数	2 2 2 1	2 2 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2
	2 ●印の個数	2 2 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2
	3 合計(1欄+2欄)	4 2 3 1	3 3 1 1	2 1 2 1	4 4 4 4
その地点の水質階級		I	I	I	III

(注1) 指標生物：生息できる環境に限られ、かつ、環境変化に敏感な性質を持つ種を選定し、その分布状況等を調査することにより地域の環境を類推・評価することができる。
(注2) COD：化学的酸素要求量といい、微生物の代わりに薬品を使って水中の酸素の使われる量を明らかにすることにより海や湖の汚れを調べるときに用いられる。

★鳥獣害対策の取り組みが六月十九日全地区で行われ、上松本班は上松本武田氏牧草地隣接地で15人が参加し草刈り作業を行いました。



した。水分上地区管内では最近イノシシ被害が多発しており、特に水稻の食害により減収が著しく深刻な問題となっています。このため、当組織では、重要な取り組みと位置づけ、活動を行っています。



★環境保全活動の一環として六月五日地区住民ら15人が参加し、緑豊かな公民館にしようとサルビアなどの苗を植栽しました。

十一月二十五日現在、交付金収入は592万2千円で前年度繰越額を含めた1740万6500円が執行されました。割合は84.9%となっています。支出は予算額に対し39.0%の799万円が執行されました。中身は、尻水口ドレン桝セット等の物材費が599万円、升沢地区小森側溝敷設費199万円となっています。年度末に向けて執行予定は委託費等に含まれるドレン桝セット・コンクリート桝等の部材費他188万円となっています。

施設の長寿命化の取り組み

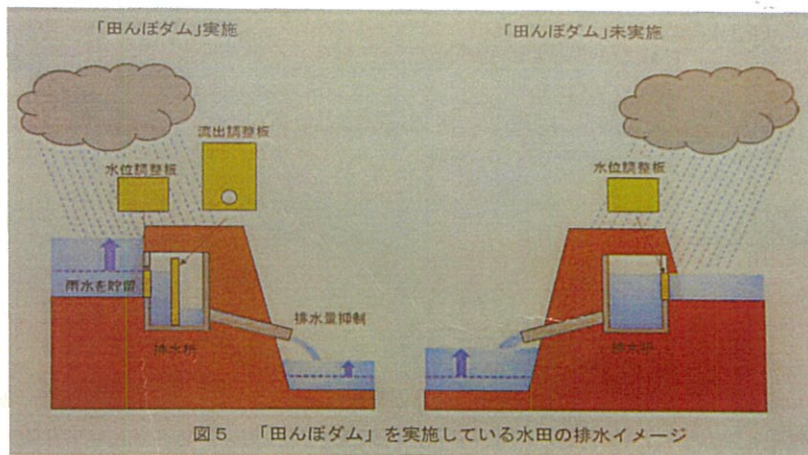


図5 「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ

基盤整備後の経年劣化により排水桝の破損が見受けられることから、更新・補修について田んぼダム(★)による防災、減災の事業と関連づけて水分上地区全域で取り組みが進められています。
★田んぼダムとは★
「田んぼダム」を実施する地域やその下流域の湛水被害リスクを低減するための取り組みです。上図のように落水口に流量を抑制するための堰板や小さい穴の開いた調整板などを取り付けることで、水田に降った雨水

排水施設の更新・補修

編集後記



を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで水路や河川から溢れる水の量や範囲を抑制しようというものです。平成14年に新潟県の村上市で始まりまし